



会報 わかくさ

第10号

2013年 10 月 発行

e-Administration
Advisor Club

自治体や中小企業のさまざまなITの
お悩みをベテラン集団が解決

<http://eaac.sakura.ne.jp/>

わかくさ抄

～e-AAC 設立 10 周年を迎えて～

今年、平成 16 年 6 月 15 日、e-AAC が設立されてから 10 年目になる。e-AAC を設立した当時の状況や動機、その後の展開について概観し、e-AAC の歩みを振り返ってみる。

1. e-AAC 設立時の時代背景とその動機

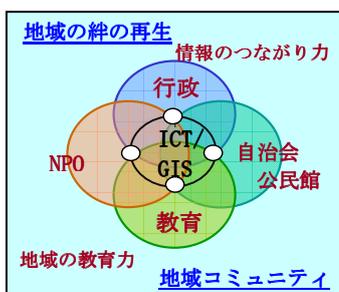
平成 12 年 7 月に、政府は、「IT 戦略本部」を発足させ、IT 革命を旗印にした「e-Japan」戦略を立案し、行政の低コストオペレーションを目指した取り組みが発表された。奈良県では市町村の数が合併により 47 から 39 に減り、平成 16 年に 165 の出先機関をつなぐ高速ネットワーク「大和路情報ハイウェイ」を構築し各市町村においても、「地域イントラネット」が構築された。一般社会では移動体通信／インターネットの普及、更に、サービス中心の社会への移行が急速に進んで、「IT 革命のパラダイムシフト」が世界的に叫ばれるようになった。多くの自治体では急速な時代の変化に追従できない状況が顕在化し、IT の恩恵を生かすべく、IT 政策の立案及び取り組みに対する『ちょっとアドバイス』が求められている。このような状況のもとで豊かな知識や経験を持った有識者の賛同を得て自治体の IT 化促進に貢献すべく、平成 16 年 6 月 15 日、【電子自治体アドバイザークラブ (e-AAC)】を設立した。

2. 活動内容

平成 16 年 9 月 4 日、臨時総会を開いて、活動の基本方針を策定した。

▶ コンセプトとして:

ICT/GIS の利活用により地域を活性化して市民生活の向上と情報社会の発展に寄与する。



e-AAC は行政 (自治体)、自治会・公民館 (市民)、教育 (小中学校)、NPO (地域活動) において、ICT/GIS の利活用を促進して

地域を元気にし、市民が ICT を自在に活用できるような社会を目指している。

▶ 基本サービスとして:

- ① ちょっとアドバイス (自治体の情報化支援)
- ② パソコン教室 (情報発信力の向上)
- ③ ワークショップ (地域の教育力の向上)

▶ 高度サービスとして:

特別プロジェクト体制構築による活動実施

現在、上記の基本サービスに「学校教育の情報化支援」を加え、4つの部会を編成して活動している。昨今、学校教育における ICT の重要性の高まりに対応して「教員の ICT 指導能力の向上」及び「児童生徒の ICT 活用能力の向上」を支援する活動である。

e-AAC は行政と地域の間で立って団体の様々な活動を支援する専門性をもった中間支援組織として位置づけられ、その役割が期待されている。

3. 地域社会の変化

この 10 年で社会は大きな変化を遂げている。「いつでも、どこでも、だれとでも」という ICT のコンセプトが現実のものとなり、ユビキタス社会を実感するようになった。スマホやタブレットの急速な普及は情報伝達のあり方を大きく変えている。交流サイト (SNS) が新たな価値を生み出すアクティブなコミュニケーション手段とし進行している。一方、ネットワーク社会が生み出す「ICT の負の側面」がクローズアップされてきた。特に、子供たちへの悪影響があらわになってきている。「ネットとケータイのモラル」について家庭を含めた子供たちへの教育が問われている。一方、高齢者にはアクティブ高齢者が増えてきている。パソコン教室の参加も増えている。高齢者が地域社会で新しい活動機会を創出して社会の「役割」を担い、地域活動の主役になってきている。



【事務局長 多田充朗】

今月のトピックス!

『香芝市学校教育の 情報化支援事業』 を受託しました。

学校教育の情報化支援事業は奈良市立小中学校において、平成 23 年 9 月より実施してきました。この度、香芝市教育委員会より、香芝市立の小中学校における情報化支援を行うことになりました。

- ◎ 奈良県緊急雇用創出事業
- ◎ 対象学校：香芝市立の小中学校 (10 校)
- ◎ 事業期間：平成 25 年 7 月 19 日～平成 26 年 3 月 31 日

『ネット・ケータイ 出前啓発講習会』 の講師派遣の委託を受けました。

スマホや交流サイトの普及により子どもたちのネットをめぐる現状など不安が膨らんできています。最近、学校から「ネットとケータイのモラル」について講習会の要請が急増してきています。学校教育の情報化支援する e-AAC の立場として積極的に取り組んで参ります。

- ◎ 事務局：奈良県青少年・生涯学習課
- ◎ 事業期間：平成 25 年 7 月～平成 26 年 1 月

「第1部会」からの報告 自治体情報化支援

第1部会では自治体会員を定期的に訪問して、行政の情報化支援を行っています。

e-AAC 設立時点の社会情勢は、行政における課題が顕在化し、IT による行財政改革が盛んに叫ばれるようになりました。IT への期待と電子自治体への変革機運が高まり、課題に対する『ちょっとアドバイス』が求められていました。

■ 平成 16 年、17 年 活動基盤の構築

1. 平成 16 年 9 月 4 日、自治体情報化支援活動方針を決定

- ▶ 自治体会員に対し IT 巡回サービスによる『ちょっとアドバイス』の実施。

2. 自治体会員の勧誘活動の実施

- ▶ 19の市町村を訪問し、下記3つの自治体の入会を得た。
 - 天理市(平成 17 年 6 月)
 - 葛城市(平成 17 年 8 月)
 - 郡山保健所(平成 17 年 11 月)

3. 電子自治体研究会の実施

- ▶ 平成 16 年 9 月～17 年 12 月まで、計 17 回開催する。
 - 定例セミナーの開催
 - 行政の情報化の現状
 - 政府の e-Japan 構想
 - 先進電子自治体動向調査

自治体の課題等について専門家を講師にして e-AAC 会員の勉強会を実施する。1 年半にわたって実施してきた定例セミナーには大きな成果があった。

■ 平成 18 年～ 活動の発展と拡大

1. 自治体会員への『ちょっとアドバイス』

- ▶ 行政の低コストオペレーションの支援として下記テーマを実施
 - 現状の調査・分析
 - 最適化計画策定
 - システムの構築
費用の査定・評価
 - 運用ガイドライン
 - 人材の育成



天理市に於ける『ちょっとアドバイス』

【自治体会員の経緯】

自治体会員名	入会日	現在
天理市	平成 17 年 5 月 16 日	継続
葛城市	平成 17 年 5 月 26 日	継続
郡山保健所	平成 17 年 10 月 26 日	平成 20 年 3 月退会
大和郡山市	平成 20 年 4 月 30 日	継続
国保連合会	平成 21 年 4 月 28 日	継続
大和高田市	平成 24 年 4 月 27 日	継続

【『ちょっとアドバイス』の件数】

年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	総数
件数	10	15	15	34	40	39	43	34	230

2. 「なら県民電子会議室」(奈良県広報広聴課)事業の受託

平成18年6月に、e-AAC が『なら県民電子会議室』の事業を受託し、同年11月に運営を開始した。4年に亘る電子会議室を運営して平成22年3月末に終了した。県民から、多くの貴重な意見をいただき県政に反映することができた。



【『なら県民電子会議室』運営メンバーの皆さん】

3. 『e 都市ランキング』取組支援

自治体の情報化の進展度をはかる客観的な指標として、毎年、『日経ガバナンス』が、全国の市町村の『e 都市ランキング』を発表。e-AAC が自治体会員を支援して大和郡山市が平成 21 年度に奈良県で 1 位になった。

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
天理市	10 位	6 位	5 位
大和郡山市	13 位	2 位	1 位
葛城市	5 位	4 位	4 位

4. 大和郡山市ホームページリニューアル事業の受託

- ▶ 事業期間:
H21 年 10 月～22 年 3 月
- ▶ 業務内容:
大和郡山市のホームページを見直し、外国語 4 カ国語ページを追加し、CMS を採用して作りかえた。



外国語翻訳メンバーの皆さん

5. 天理市第 2 次地域情報化5か年計画の作成業務受託

- ▶ 事業期間:平成22年11月1日～23年2月28日
- ▶ 業務内容
 - 地域情報に関わる現状と課題
 - 天理市地域情報化の基本方針
 - 具体的施策と目標
 - 重点プロジェクト

6. 葛城市地域情報化調査事業の受託

- ▶ 事業期間:
H24 年 10 月 19 日
～25 年 3 月 31 日
- ▶ 業務内容
 - 市民・事業者に対してアンケート調査、分析
 - 葛城市地域情報化計画の作成
- ▶ 戦略ターゲットとして:
高齢者、事業者、子育て世代



葛城市地域情報化調査作業メンバーの皆さん

7. NPO 中間支援活動組織としての展開

e-AAC は、奈良県より中間支援組織として位置づけられ、その役割が期待されている。e-AAC は、ICT/GIS の利用により、地域を元気にする活動を行っている。

「第2部会」からの報告 学校教育情報化支援

■ 学校情報化への取組みについて

平成 20 年度夏休み、平城小学校で先生方に「MS Office」の研修実施を皮切りにして「学校情報化」への取組みを進めてきました。又、その 2 年前から天理の小学校で「カレンダーづくり」等、クラブ活動支援を続けていますが、課題は山積み、「学校情報化教育」問題は深刻です。文科省の思いと現場の実態は大きな溝があり、特に ICT 授業環境のインフラ整備が大きく遅れているのが現状です。e-AAC として少しでも力になればと、「学校情報化」支援に向けて前向きに取り組んでいます。

■ 重点的取組みテーマ

- 子ども授業の支援（授業は先生のスキルアップに）
- 子どもをネット有害被害から守る授業
 - 高学年授業：「スマホ/携帯セキュリティ&モラル」授業
 - 6年と保護者：「ネット・ケータイとLINEの危険性」
- クラブ活動支援として、「ものづくり教室」
(ハード、ソフト両面から進める)
 - パソコン分解：デスクトップ分解 CPU/HDD 取出す
 - プログラミング：文科省作成の「ゲームづくり体験」
 - 太陽光発電：太陽光パネルと手回し発電機

■ 平成 24 年度『ICT 支援』

- 奈良市、小中学校で実施：
 - 佐保台、西大寺北、伏見、鼓阪、平城、平城西、朱雀、精華、大安寺、神功、富雄北、富雄南、各小学校
 - 興東、平城 各中学校

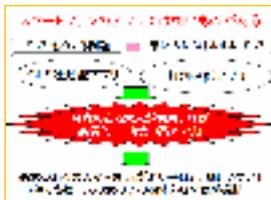
平成 24 年度下期実績	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	
何でも相談	3					3
子どもセキュリティ&モラル	1				2	3
パソコン分解	1	1	1			3
プログラミング	1			3		4
子ども授業支援	6	9	9	7	10	41
計	12	10	10	10	12	54

- 奈良市教職員中級スキルアップ教室 定員 30 人
 - 24 年度夏休みにエクセル&マクロ研修 8/1

■ 重点取組みテーマについて

テーマ1

子供の、
『スマホ/携帯セキュリティ&モラル』（スマホ、LINE の被害から守る）



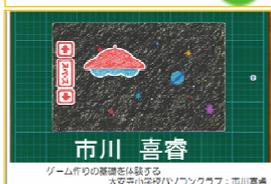
テーマ2

パソコンの分解
 ・パソコンの中は？
 ・どんな物がある！
 ・人間の体と比較！



テーマ3

プログラミングの体験
 「ゲーム遊ぶから～
 ゲームを創る」体験



■ 平成 25 年度『学校情報化』支援について

子どもたちが「ネットや LINE」を使うのは避けられない。「スマホ/

ケータイの被害から子どもたちを守る」授業が急務となっている。一方で文科省が 2014 年度に「タブレット端末」で ICT 授業を支援すると発表した。ICT 授業環境や先生の ICT スキルアップ等、ICT 授業のインフラの整備にもう時間がないのが現状です。

■ 香芝市教育委員会の委託事業について

H25/7～H26/3 の 8 ヶ月間 242 回/10 校 を支援します。

- 7、8 月全小学校訪問、「プレゼンと ICT 授業支援」の内容を説明
 - A グループ：真美東、旭ヶ丘、五位堂、志都美、真美西
 - B グループ：下田、関屋、三和、鎌田、二上
- ICT 授業支援の内容
 - 低学年(1,2,3 年)授業：パソコン基本とお絵描き
 - 高学年(4,5,6 年)授業：パソコンの基本と新聞づくり等
 - クラブ活動支援：名刺、カレンダーを作り等
 - 総合学習授業支援：デジカメ写真でミニ新聞作成等
 - 子どもを「ネット・ケータイの被害から守る」授業
 - 「ものづくり教室」（授業、クラブ活動）
 - 「パソコン分解」パソコン構造、働きと機能を考え
 - 「プログラミン」ゲームをする→ゲームをつくる体験
 - 「太陽光パネル、手回し発電機」電気発生の仕組み
 - 特別学級「パソコン使った楽しい授業」の支援
 - パソコン教室の整理（授業前後の機器整理）
 - 教職員研修：MS Office、情報セキュリティ、電子黒板等
 - 何でも相談：テレビ/サーバー活用、ホームページ等
- 学年別 ICT 授業として

H25/9～H26/3
ICT 支援を開始



【A グループ】 支援員（中村）

9/4	水	真美東	5 年：PC 起動終了、JS（ローマ字入力）
9/5	木	旭ヶ丘	情報モラル体験授業の資料づくり
9/6	金	五位堂	1 年：PC 起動終了、JS（マウスの動作）
9/9	月	旭ヶ丘	4 年：授業支援（先生メイン/検索）
9/10	火	志都美	6 年：PC 起動終了、JS（ローマ字入力）
9/11	水	真美東	5 年：作品作り（5 年先生より提案）、整備
9/12	木	旭ヶ丘	4 年：スマホ、ケータイの被害から守る授業
9/13	金	五位堂	2 年：PC 起動終了、JS マウス練習

【B グループ】 支援員（毛利田）

9/3	火	下田	図書室パソコンメンテ他
9/4	水	関屋	教頭、担任先生打合せ
9/9	月	三和	支援テーマ打合せ
9/10	火	下田	4 年：PC 正しく使う
9/12	木	鎌田	デジタルコンテンツ作成
9/13	金	二上	デジタルコンテンツ作成

■ 奈良市小学校支援状況

西大寺北	5/27～ICT 授業、他	朱雀	支援予定
伏見	5/15～ICT 授業、他	平城	〃
佐保台	5/27～ICT 授業、他	平城西	〃
富雄北	11/26 パソコン分解		
富雄南	12/16 〃		

■ 奈良、香芝市以外の小学校と中学校

天理柳本	8/7 セキュリティ&モラル他	矢田	10/17 セキュリティ&モラル
生駒南第 2	6/27 セキュリティ&モラル	浮孔	11/2 セキュリティ&モラル
生駒鹿ノ台	9/19 セキュリティ&モラル	香芝中	26/1/16 セキュリティ&モラル

■ 奈良市教育委員会

「平成 25 年度教職員スキルアップ研修」

8/2	応用実践：ワード/エクセル/アクセス/パワーポイント
-----	----------------------------

「第3部会」からの報告 パソコン研修

■ 第3部会の歩み

1. 基本方針

平成 16 年 7 月 6 日、臨時総会に於いて、3 つの重要な活動方針を策定した。そのうちの1つが『パソコン教室』である。

10 年目を迎えた『パソコン教室』の活動はこれまで継続発展し、今では、e-AAC の大きな柱になっている。

2. パソコン教室の主な展開

当初は会員の勉強会からスタートし、参加者も少人数であったが、その後の展開を下記する。

- ①平成 17 年になって、ある有力な方からパソコンの家庭教師の要請があり、『パソコン出前教室』の機会を得るなど、いくつかのパソコン教室の機会をえることができるようになった。
- ②平成 18、19 年になると、奈良県職員レベルアップ研修会をはじめ、天理市、葛城市から職員向け研修会、奈良市からは市民向けパソコン教室を受注した。
- ③平成 20 年には、奈良県市町村職員研修会を受注し、今年までで連続 6 回の実施となる。
- ④平成 21 年には、奈良市教育委員会から教員夏季パソコン研修会を受注し、今年までで連続して 5 回の実施となる。
- ⑤平成 22 年からは、公民館や地域活動団体の市民向けパソコン教室が盛んになった。最近では、8 カ所にてパソコン教室を実施している。耳成教室、NTT 電友会教室、学園前教室、大和高田教室は特に参加者が多い。



【第3部会ミーティング】

■ 受託『パソコン教室』の実績(平成 25 年 4～9 月)

1. 奈良市教育委員会

8/1 実施

Word・Excel・Access・PowerPoint の操作方法について、何でも相談形式にて実施



【パソコン教室】

2. 奈良県市町村職員研修センター

9/9、10、11、12、13、17、18、19、20、24、25、27 の 12 回実施

場所: 奈良県教育研究所
定員各 35 人・延べ 12 日間
Access 基礎 2 日コース 2 回
Access 応用 2 日コース 1 回
Excel 応用 2 日コース 2 回
PowerPoint 基礎 2 日コース 1 回



【パソコン教室】

3. 耳成公民館『パソコン教室』

4 月～8 月 計 8 回実施
デジカメ中心に写真編集・加工、インターネット
パソコン教室: 午前の部 20 名
フォロー教室(教室開催日の午後
に実施): のべ 50 人
フォロー教室(教室開催日以外に
実施): 2 回 4 人 + α



【パソコン教室】

4. 奈良市田原公民館

6/30、7/14、7/28 の 3 回実施
<初心者からのパソコン 3 日間講座> 定員: 22 名
パソコン入門からワード、チラシ作成 3 テーマ

5. 天理市福住公民館

7/5、19、8/2、16、30、9/6
の 6 回実施
パソコン入門コース 定員 30 人
Word、デジカメ写真、
チラシ作製など



【パソコン教室】

6. 奈良市三笠公民館

7/26、27、8/23、24 三笠子ども教室を実施
Word 画像処理、マイシール作り 定員: 22 名

7. 宇陀市中央公民館

7/27、8/10 パソコン講座 定員 20 名
菟田野分室[デジカメ写真の取込と編集]

8. NTT 電友会(耳成)『パソコン教室』

H25/4～H25/9 10 回コース
(隔週 2、4 火曜日) 定員 20 名
パソコン入門からワード、エクセル、
デジカメ、インターネットなど
Facebook 講座を、大安寺(8/5・
9/2)、耳成(8/1・9/5)計 4 回



【パソコン教室】

9. ナビの会

毎月第 2 月曜日 13:30～16:30 開催

■ e-AAC 『パソコン教室』事業

1. 大宮教室: e-AAC 大宮事務所

土曜パソコン教室(パソコン初心者向) 1、3 土曜日
パソコン入門、ワード、エクセル、
デジカメ、インターネット
その他、「何でも相談」実施
月～金 延べ 82 名



【パソコン教室】

2. 高田教室: 中和労働会館

水曜パソコン教室(毎週水曜日)
定員: 20 名
パソコン入門から、ワード・エクセル・
デジカメ等
「何でも相談」(パソコン教室開催
の午後)実施 延べ 48 人



【パソコン教室】

3. 郡山教室: 奈良県郡山総合庁舎

月曜パソコン教室(毎週月曜日) 定員: 20 名
受講者が少なく、2 回実施して中断

4. 学園前教室: 近鉄プラザ 6F

木曜パソコン教室(毎木曜日午後) 定員: 20 名
パソコン基本操作: H25/3～
ワード、エクセル、写真の自由自在コース 25/5～9

5. 伊那佐教室:

宇陀市 伊那佐郵人

パソコン教室 9/2、30
定員 10 名
8/19 「何でも相談」実施



【パソコン教室】

「第4部会」からの報告

e-AAC
ワークショップ

■ e-AAC ワークショップの実施状況

平成 18 年より昨年まで、年に 1~3回実施してきた内容は、下表のとおりです。

回	テーマ	実施時期
1	GIS 実践講座 (3回シリーズ)	H18 年 2 月~7 月
2	高度情報セキュリティ実践講座 (5回シリーズ)	H18 年 9 月~19 年 1 月
3	次世代ネットワークサービス講座 (6回シリーズ)	H19 年 6 月~11 月
4	地理空間情報活用基本法と電子国土 Web システム (6回シリーズ)	H20 年 6 月~11 月
5	地域データの分析活用講座 (5回シリーズ)	H21 年 5 月~9 月
6	IPA セキュリティセミナー (マネージメント・技術コース 2 日間)	H22 年 2 月 3 日、4 日
7	クラウドコンピューティング (4回シリーズ)	H22 年 6 月~7 月
8	無料の GIS ソフト、電子国土 Web や Google Earth を使いこなそう (4回シリーズ)	H23 年 2 月~3 月
9	事業継続とクラウド時代の 情報セキュリティ (3回シリーズ)	H23 年 9 月~10 月
10	スモールワールドと新携帯機器の利 活用 (3回シリーズ)	H24 年 1 月~2 月
11	基盤地図情報とクラウド GIS 最前線 (2 日間)	H24 年 8 月
12	スマートヘルスケアで地域を元気に (3回シリーズ)	H24 年 11 月~12 月

■ セミナー開催結果報告

平成 25 年 7 月 13 日、20 日、27 日、の 3 回シリーズで、『スマートコミュニティと安心・安全、快適なスマートハウス』セミナーを開催しました。

少子高齢化社会、東北大震災を契機に街全体の電力の有効利用や再生可能エネルギーの活用、都市の交通システムや住民のライフスタイル変革など、複合的に組み合わせた社会システムはどうあるべきか、また防災や減災、省エネな低炭素社会の実現はどうしたらいいか、これらの観点でスマートコミュニティ・スマートハウスが大変注目されています。また ICT の利活用は従来の合理化や省力化ばかりでなくあらゆる産業で幅広く活用されている。かかる背景を踏まえ、9 名の講師の方々から次のような、それぞれの分野で最新動向や課題、実例を踏まえた講演をしていただきました。

全体を通して、スマートコミュニティやスマートハウス化などを理解し、今後の防災・減災に役立ちかつ省エネなまちづくり、地球にやさしい低炭素社会や新しい地域づくりの重要性、

更に地域でのエネルギーの自律を目指したスマートコミュニティやスマートシティ、地域におけるエネルギー開発への人々の参画の仕組みや事例についても学びました。更に、奈良県のエネルギー政策や奈良県における再生可能エネルギーの活用可能性についても詳しく学ぶことができました。

平成 25 年 7 月 13 日、20、27 日 の 3 日間
於：奈良県立大学 3 号館 2 階多目的ホール

『スマートコミュニティと安心・安全、快適な
スマートハウス』セミナーを開催しました。

第 1 回

1. 基調講演:「スマートコミュニティとは」
奈良県立大学 地域創造学部教授 村田武一郎氏
2. 「スマートシティの最新動向と富士通の取り組み」
富士通(株)スマートシティ推進本部 玉木剛氏
3. 「スマートハウスについて」
大和ハウス工業(株) 地球温暖化防止グループ長 大槻卓也氏

第 2 回

1. 「奈良県のエネルギー政策について」
奈良県エネルギー政策課長 塩見浩之氏
2. 「太陽光発電によるスマートコミュニティ実現に向けて」
シャープ(株)ソーラーシステム事本部 小西貴雄氏
3. 「市民参加による再生可能エネルギーの導入促進について」
浜銀総合研究所 永富聡氏

第 3 回

1. 「奈良県における再生可能エネルギーの活用可能性について」
奈良県立大学兼任講師 大森淳平氏
2. 「スマートハウス化による家庭の省エネ・低炭素化の取り組み」
大阪ガス(株) スマート住宅推進 T 中村哲氏
3. 「スマートひかりタウン熊本」の取り組みについて
NTT 西日本(株) クラウドソリューション部長 上村幸太郎氏



【7月20日 『スマートコミュニティと安心・安全、快適なスマートハウス』 セミナー】

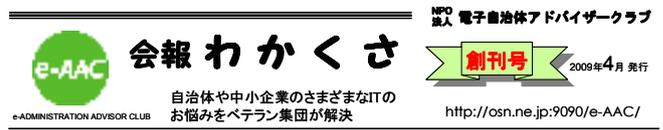
■ 今後開催する e-AAC ワークショップについて

会員にテーマや開催要領についてアンケート実施致しました。次回の第 14 回 e-AAC ワークショップについてはこのアンケート結果を踏まえ、現在検討中です。募集開始いたしましたら多くの皆様にご参加いただけるようご協力をおねがいします。

事務局からの報告

1. e-AAC のこれまでの主なトピックス

- 平成 16 年 6 月 15 日 「電子自治体アドバイザー・クラブ」設立
- 平成 16 年 7 月 6 日 活動の基本方針を決める(臨時総会)
- 平成 17 年 8 月 27 日 初代理事長 奥家孝彦氏就任
- 平成 17 年 6 月 28 日 自治体に『ちょっとアドバイス』の開始
- 平成 17 年 12 月 26 日 パソコン教室の開始
- 平成 17 年 12 月 19 日 NPO 法人登記 (e-AAC)
- 平成 18 年 2 月 24 日 ワークショップ(情報リテラシー)の開始
- 平成 18 年 6 月 29 日 奈良県民電子会議室の運営受託
- 平成 21 年 2 月 19 日 平城小学校「ものづくり教室」の実施
- 平成 21 年 4 月 1 日 e-AAC 会報「わかくさ」創刊
- 平成 22 年 4 月 2 日 e-AAC 大宮事務所の開設
- 平成 22 年 4 月 24 日 耳成公民館での「パソコン教室」開始
- 平成 22 年 6 月 10 日 NTT 電友会での「パソコン教室」開始
- 平成 23 年 6 月 18 日 第 2 代理事長 谷川義明氏 就任
- 平成 23 年 10 月 1 日 学校教育の情報化支援事業に参入
- 平成 24 年 9 月 1 日 奈良県被災地支援(五條市、野迫川村)開始
- 平成 25 年 6 月 15 日 e-AAC 設立 10 周年記念講演会



2. e-AAC の部会の編成

事業内容 \ 年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	担当部会
自治体情報化支援	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第 1 部会
パソコン力向上支援		—	—	—	—	—	—	—	—	—	第 3 部会
ワークショップ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	第 4 部会
NPO 基盤向上支援							—	—	—	—	第 2 部会
・奈良県民電子会議室 ・学校教育情報化支援			—	—	—	—	—	—	—	—	特別 プロジェクト

3. これまでの主な公的事業の受託実績

事業	委託元	契約期間
奈良県民電子会議室	奈良県	H18/6~22/3
情報セキュリティポリシー	天理市	H19/8~H19/11
WEB 版スマイルズ	奈良県	H21/4~H22/3
市ホームページの見直し	郡山市	H21/10~H22/3
地域活動活性化事業	奈良県	H22/4~H23/3
地域情報化計画の作成	天理市	H22/11~H23/2
住民情報システムの精査	天理市	H23/2~H23/3
地域活動活性化事業	奈良県	H23/4~H24/3
学校教育の情報化支援	奈良県	H23/10~H24/9
地域情報化調査事業	葛城市	H24/10~H25/3
学校教育の情報化支援	香芝市	H25/7~H26/3

4. e-AAC の会員・組織

年度	正会員	個人 会員	顧問	自治体 会員	賛助 会員
H25 年度	51 名	6 名	5 名	5 団体	6 団体

理事長: 谷川義明 副理事長: 小山正樹 事務局長: 多田充朗

事務局:

会計(寺村)、システム(坂田)、会報(佐藤)、庶務(内田、半場)

部会: 第1部会長(多田)、第2部会長(大洞)、第3部会長(吉田)、
第4部会長(木谷)

☆編集後記☆

設立 10 周年を会員全員で慶びたいと思います。当『会報 第 10 号』は、その記念版として、これまでより 2 ページ増大し、6 ページの拡大版としました。その内容として、e-AAC の、今日までの「10 年の歩み」や「各部会の活動とその発展過程」を編集しています。是非精読戴き、それぞれの担当で、それぞれ積み上げてきた大切な実績を確認し、その財産をもとに、さらに大きく社会に貢献していこうではありませんか。(M. Sato)

協賛団体



南都銀行



発行

特定非営利活動法人

電子自治体アドバイザークラブ(e-AAC)

編集

e-AAC 編集部

(ご連絡先) e-mail: e-aac@nifty.com

ホームページ: http://eaac.sakura.ne.jp/